

## 岡山理科大学獣医学部設置に係る答申を受けて

～加計学園グループの学生・生徒、保護者、同窓生並びに支援者の皆様へ

本日、13年以上にわたって構想実現に取り組み、愛媛県、今治市とともに構造改革特区で15回、国家戦略特区で1回の計16回に及ぶ申請の結果、ようやく岡山理科大学獣医学部に係る答申が文部科学省より発表されました。これまでご支援いただきました皆様に厚く御礼申し上げる次第でございます。

私が申し上げたいことは、全て7月に行われました国会の閉会中審査において、加戸守行・前愛媛県知事がおっしゃられた内容に尽きると考えております。しかしながら、あえて付け加えて申し上げさせて頂くとすれば、今回答申が発表されました背景には、私どもが繰り返し申請を行ってきたこの長い年月の間に、皆様方をはじめ愛媛県、そして今治市の皆様から、大変温かいご協力を賜ったことでございます。ここに、心からの感謝を申し上げたいと存じます。

父である創業者・加計勉は学園草創期より動物関連教育について強い関心がありました。あまり報道はされていませんが、その思いを引き継いだ形で、10数年前より学園グループでは動物関連の学部・学科を設置してまいりました。岡山理科大学には理学部・動物学科が、倉敷芸術科学大学には生命科学部・動物生命科学科が、千葉科学大学には危機管理理学部・動物危機管理学科が、そして岡山理科大学専門学校には、動物看護学科、トリミング学科、ドッグトレーニング学科がそれぞれ設置されております。こうした歴史を積み上げてきた結果が、今回の答申につながったものと深く感謝致しております。

さて、来年4月に開設を計画しております岡山理科大学獣医学部は、国際的に通用する人材を養成するために、獣医学科75名、獣医保健看護学科12名という充実した教員組織を備えます。自然環境に恵まれ、農水畜産業などの地場産業が盛んな愛媛県今治市において学生たちは、こうした教育環境の中で現場実習のみならず、ボランティアや地域イベント等など地元の皆さんとの交流を通じて、大きく成長する機会を得ることができます。改めて、皆様方や今治市、愛媛県のご協力を賜りたいと存じます。

獣医学部設置を発想してから、紆余曲折を経て、今回の答申によりようやくたどり着きました。万感胸に迫る思いでございますが、ここまで参りました以上は、認可を得たうえで学園の建学理念の下、世界に冠たる獣医学部を目指して、努力に努力を重ねていきたいと強く思っておりますので、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成29年11月10日

学校法人加計学園  
理事長 加計 孝太郎

## 社会ニーズに対応した新しい獣医学拠点を構築します

平成30年4月、岡山理科大学獣医学部の開設を可とする答申が本日、発表されました。西日本の私立大学では初めてで、日本での獣医学部新設は52年ぶりです。

本学の獣医学部の基本コンセプトは“One World, One Health”と“One Medicine”です。前者は「地球上のヒトと動物の健康は相互に密接に関係していて切り離せないものである」、そして後者は「ヒトの医学と動物の獣医学は別物ではなく、共通の基盤の上に成り立っている」という意味です。このような認識に立って、動物とヒトの健康を科学するための新しい教育研究拠点を構築します。

本学獣医学部の大きな特徴は、先端ライフサイエンス研究に獣医学的な見地からアプローチし、革新的な創薬・医療機器開発に貢献できる人材や、人獣共通感染症など新たなリスクに対応できる国際的に通用する人材を養成することです。これを実現させるために、専任教員87名（教授33名、准教授20名、講師9名、助教25名）という日本では最大級規模の充実した教員組織を編制しました。

獣医学部は獣医学科（6年制、入学定員140名）と獣医保健看護学科（4年制、入学定員60名）の二つの学科で構成されます。

獣医学科では、社会ニーズに対応できる国際的な視野をもった獣医師を養成します。1～4年次までは獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに沿って獣医学の多様な分野を幅広く学び、5～6年次では3分野（ライフサイエンス、公共獣医事、医獣連携獣医）から一つ選択し、自分の将来の進路に合った専門分野を深く学びます。このような教育体系は、斉一教育を基本としてきたこれまでの獣医学教育とは一線を画すものです。

獣医保健看護学科（4年制、入学定員60名）では、国際的にVPP(Veterinary Paraprofessional)と呼ばれている人材を養成します。VPPとは近年注目される職種で、拡大する獣医分野に精通し、獣医師と連携できる実践的な能力を有する専門家のことです。低年次では獣医学科と共通の科目および獣医看護学の基礎科目を中心に学び、高年次では実験動物、公衆衛生、高度獣医事看護の3分野のアドバンスト科目を学びます。

獣医学部のキャンパスは愛媛県今治市にあります。今治市は造船業・海運業やタオル産業では国内で最大規模を誇り、農水畜産業など一次産業も盛んな土地柄です。市街地に隣接する丘陵地に造成された広大なキャンパス（敷地面積16.8万㎡）からは、瀬戸内海の美しい多島景観を眺望することができます。学生たちは、自然に恵まれたこの地において、学外実習やボランティア・地域イベントなどを通じて地元の皆さんと交流する機会が多くあります。

岡山理科大学では、「自ら考え、行動し、失敗を恐れずに粘り強く取り組むとともに、目的達成のために多様な人と協働できる人材を地域社会・国際社会に輩出すること」を教育目標に掲げています。この教育目標の下で、高い使命感をもった獣医学人材を世に送り出すことが本学のこれからの重要な責務であると考えています。

平成29年11月10日

学校法人加計学園 岡山理科大学  
学長 柳澤 康信